

福

社の活動支え合う

赤い羽根共同募金街頭キャンペーン

今年で67回となる「赤い羽根共同募金」が、10月1日から全国一斉に始まりました。

「南部の町を良くするしくみ」をテーマに、1日夕方から、町内の小中学生、福祉委員、共同募金会役員が丸合西伯店とローソン会见店前で、「共同募金よろしくお願いします」と呼びかけました。募金を頂いた方には、赤い羽根と風船を渡し「ありがとう」と答える子どもにも笑顔があふれました。

この募金は、高齢者の見守り、障がいのある方の支援、子どもたちの福祉教育、ボランティア活動の推進などに使われます。



募金ありがとう！

県

営初の小水力発電所

賀祥発電所運転開始記念式



西伯小6年生の児童も発電所を見学しました

賀祥ダム（下中谷）で9月3日、県営賀祥発電所の運転開始記念式が行われました。記念式には平井鳥取県知事、坂本町長をはじめ関係者が出席し、西伯小学校の児童が作文を披露しました。この賀祥発電所は、とっとり県民債で調達された資金を活用し建設されたもので、賀祥ダムの放流水を利用し発電を行い、目標売電電力量は一年間で1400Mwh（約390世帯分）とされています。

あいま富有の里

こちら地域振興協議会

こちら地域振興協議会

南さいはく

健康と長寿を願い合同敬老会

9月16日に総合福祉センターいこい荘で敬老会を開催しました。満75歳以上の対象者264人のうち、77人が元気よく顔をそろえ、長寿を祝いました。式典では主催者挨拶と来賓の祝辞、

今年満100歳を迎えた2人に内閣総理大臣祝書、米寿の10人に記念品が贈られました。演芸では、ひまわり保育園園児による踊り、崎津小・小谷先生によるマジックショーに大喝采。南部町公民館クラブの「琴・尺八演奏」、若柳流日本舞踊などが披露され、大いに盛り上がりました。今年度、100歳以上の長寿者は町全体で10人。そのうち4人が当区の住民。来年も元気で再会することを願っています。



今年度100歳を迎えられた野口さんと赤井さん

9月16日に緑水園で、南さいはく地域振興協議会の合同敬老会を開催しました。同地域の75歳以上は214人で、参加者は80人でした。米寿の11人には記念品を贈呈しお祝いしました。

祝宴では「入蔵の銭太鼓」に坂本町長も出演、拍手喝さいが沸き起こりました。「どじょうすくい踊り」では飛び入り参加もあり、笑い声があふれました。また、特産化研究会で商品化を進めている「ウド羊羹」の試食もあり、「ウドの食感が楽しめて美味しい」など、大好評でした。

来年はもっと沢山のの方に参加して頂き、お祝いできればと思います。



参加者全員で記念写真